

お子さんの背が気になったら

お子さんの背が気になっているようでしたら、標準成長曲線(日本人の子どもの平均)を見てください。そして、お子さんの正確な年齢と身長のところ、点をうってみてください。この点をむすび、成長曲線を描いていくと、現在のお子さんの平均身長に対する位置がわかるだけでなく、だんだん追いつこうとしているのか、ますます離されていくのかが、よくわかります。もし、うった点が-2SDのラインより下にあつて、なおかつ徐々に伸びが悪くなっている場合、もしくは-2.5SDのラインより下にある場合は、まず一度ご相談ください。

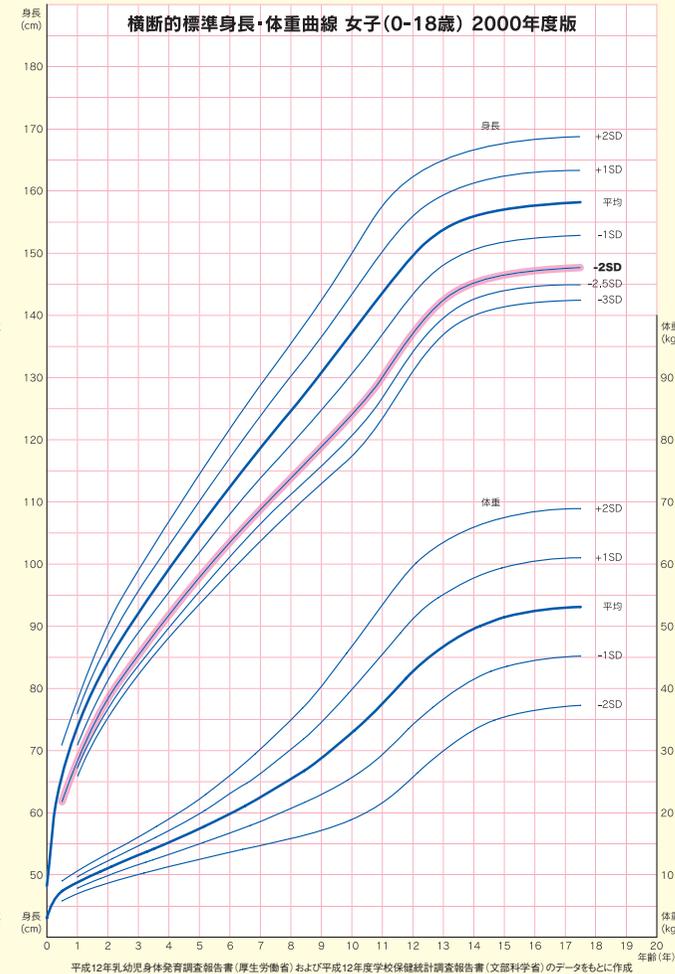
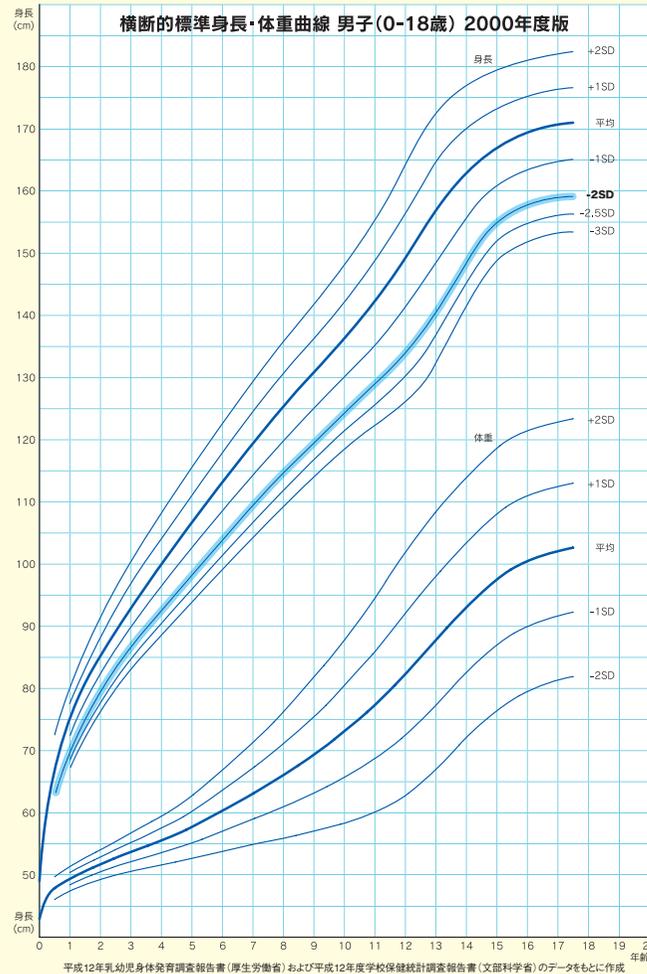
来院されるときには、お子さんの母子手帳と、できるだけ詳しく描いた成長曲線をお持ちください。最初は保護者の方だけで来られてもかまいません。

背が低いことが、すぐに異常であるとか、問題があるわけではありませんが、一度は専門家の医学的な目でチェックしておいてもよいと思います。少しでも背を伸ばせる糸口がつかめるかもしれません。

受診した場合、何をやるのですか？

まず、母子手帳を参考にしながら、お持ちいただいた成長曲線を詳しく分析します。次に、具体的な食事や生活習慣、既往歴(過去の病気)、心理状態、他のご家族の様子などをおうかがいします。そして必要があれば、手や頭のレントゲン検査、尿検査、血液検査と進めていきます。その結果をみて、成長ホルモン療法などの治療が必要であるかどうか判定します。すぐに治療が必要でない場合は、背を伸ばすための食事栄養相談、運動や睡眠などの生活指導、ときには心理的カウンセリングや漢方療法を行いながら、半年に一回、身長の伸びの経過を追っていきます。そのような関係を通して、子どもが背の低いことをコンプレックスと感ずることなく、心身ともに健全に発育していく手助けをしたいと思っています。

また、人々の横のつながりも大切にするため、すでにお子さんが低身長の治療を受けておられるご家族の会「虹の会」の運営も行っています。



低身長症の検査・治療(成長ホルモン療法を含む)



院長 山手智夫

昭和63年岡山大学医学部卒業
医学博士、小児科専門医



光市浅江1丁目10-12 TEL:0833-72-5041

<http://www2.ocn.ne.jp/~toyamate>